

勝瀬中学校区

<p>交流事業として、実施できたこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中合同あいさつ運動 ・ふれあい相談員の小学校見学 ・新入生テスト ・入学前アンケート ・各種たより、広報誌等の交換
<p>乗り入れ授業 (理科)</p>	<p>【成果と課題】</p> <p>○理科教員を小学校3校に毎週午前中に派遣し、理科の授業や授業支援を行った。専門的サポートとともに、小学校と中学校の授業の内容を理解し、一貫して指導を進める役割を果たすことができた。また、児童と中学校教員が交流することで、児童の中学校に対する垣根を取り除く役割も果たせた。理科室経営についてもアドバイスすることができた。</p> <p>・課題としては、小学校3校に派遣するには理科教員の数が足りないことと、小学校との事前の打ち合わせをする時間がとりにくかった。今後はリモート会議なども活用して、小中の教員が綿密に連携をとりながら授業が進められるとより高い効果が期待できる。</p>
<p>カリキュラム編成に取り組んでいる教科・領域等 (国語、社会、数学、理科、英語)</p>	<p>主に小学校高学年と中学校の年間指導計画を見比べて、共通して学習する単元について一貫して授業を計画できるように研究を進めている。</p> <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の教科書も改訂になったところで、改めて検討する必要がある。 ・体育などの単元についても一貫性を持たせた指導を研究したい。
<p>令和2年度の 取組について</p>	<p>【成果と課題】</p> <p>○管理職間で、具体的な話し合いの場がもて、ポストコロナに向けて、小中一貫教育を一層充実させる方向性を確認できた。</p> <p>○可能な範囲でできる研究を進めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意識の共有化 …学校間および教職員間の意識の温度差をどう埋めるか。 ・時間的制約 …多忙な中で、いかに情報を共有し一貫性を担保するか。 ・人的制約 …指導にあたる教員数をどう確保するか。 ・一貫性の幅 …何についてどれくらいの一貫性をもたせるか。 ・方向性の統一 …4校の意識や取組み、評価をどう方向付けるか。 ・連携が一貫か …一貫を目指すなら教育課程に踏み込む必要がある。
<p>令和3年度に 向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 来年度は数学について乗り入れ授業も含めて中学校教員の授業を実施していく。 * 相談員を月1回程度、小学校に派遣して相談活動をはじめ。 * 小学校に中学校の広報コーナーを設けて、児童や保護者に情報提供する。 * 教職員の教科別合同研修会を開催し、カリキュラムの一貫性について研究を進める。 * 新入生テスト結果を活用して、中学校進級に必要な学力を身につけさせる取組みをはじめ。 * リモートを活用した授業研究会を開催する。 * 小中連携した児童生徒用PCの活用研究を進める。 * 中学校を会場とし、小学生に募集を広げて、英語や漢字などの検定試験を実施する。 * 制服改訂に向け小学校の教員や児童・保護者へのアンケートを実施する。